

「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 齊藤 隆

川に学ぶ体験活動協議会（略称RAC）は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成12年9月に設立され、平成15年6月現在、110団体が加入しています。6月に開催された定期総会ではNPO法人化することが決定され、今年中に申請手続きに入る予定です。

今年の活動は現在進行中ですので、いくつかポイントを絞って詳しくご紹介いたします。

【川の指導者育成について】

水辺体験活動を含め自然体験の重要性が叫ばれるようになりましたが、自然の中での活動は危険がつきものです。川の危険性を正しく理解し伝えられるスキルを身に付け、楽しい活動をリードすることが川の指導者の大きな役割の一つです。

川の初級指導者育成講座では最低限下記の科目を必要時間以上履修することが必要となっています。

| | 必修科目 | 講義 | 実習 | 合計 |
|---|----------------|----|----|----|
| 1 | 川に学ぶ体験活動の理念 | 1 | ・ | 1 |
| 2 | 川という自然の理解 | 1 | 2 | 3 |
| 3 | 川と人、社会・文化との関わり | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 安全対策について | 1 | 3 | 4 |
| 5 | 川に学ぶ体験活動の基礎技術 | 1 | 2 | 3 |
| 6 | 対象となる参加者のことを知る | 1 | 1 | 2 |
| 7 | 川に学ぶ体験活動の指導法 | 1 | 3 | 4 |
| 8 | プログラム作りの基礎知識 | 1 | ・ | 1 |
| | | 8 | 11 | 21 |

また、中級1（リーダー）になるためには、初級を受講してから1年間の活動経験を積むことが必要になります。次が中級2（インストラクター）、最後に上級（コーディネーター）となり、ランクが上がる毎に、引率人数や活動範囲が広がります。

今年は、初級講座を約20箇所で開催中です。1講座の受講者が約30名程度となり、今年は約600名の川の初級指導者が育成されつつあります。また、中級1講座は3箇所（帯広、ニセコ、広島）で実施の予定です。中級2、上級については今後順次整備していくこととなります。

【子どもの水辺安全講習会】

主に小学生を対象に自分の身の守り方、簡単な救

助の方法等を、実際に川に入って行うものです。

今年は主にRAC指導者が講師となり、全国約10箇所で開催されます。特に学校から依頼が入った場



〔渡河体験～RAC指導者と〕

合には、この安全講習会を活用し、先ず学校の先生やPTAの方々に講習を行い、その方々のサポートのもとで川での体験活動を行うようにしています。

～小学生から頂いたお礼の手紙より（抜粋）～
私は初めて多摩川に入って色々なことをしました。一番楽しかったのは浮いて流れたことです。でもそのほかに川の流れをせき止めたりするのも楽しかったし、歩いて川を渡ったのも楽しかったです。まん中の辺りで急に深くなって流れがはやくなったのでびっくりしました。でも楽しかったのでまたみんなで渡ってみたいと思いました。

＜今後へ向けて＞

今年度は、川の指導者育成の他、益々水辺体験活動を楽しく安全にできるようにRAC公認



の水辺活動器材（ライフジャケットやファーストエイドキット等）、Eボート等貸し出し用の器材を徐々に整備していく予定です。

水辺で子どもの体験活動をするこの目的の一つは「感謝の念」を教えることです。水辺で



〔ライフジャケット浮遊体験〕

の楽しい体験に「感動」し「感激」を覚えることで、初めてそれを与えてくれた大人や地域社会、先代からの歴史の継承に「感謝」の気持ちを持つようになると思います。水辺での活動を通じて山紫水明の日本を蘇らせるためにも、当協議会の活動への温かい支援をぜひお願いします。（RACの詳しい事業計画、収支内容等については、RACのメルマガやホームページ（<http://www.rac.gr.jp>）にてお知らせしますので、是非ご覧下さい。

《川に学ぶ体験活動協議会》

東京都中央区入船1-9-12 河川環境管理財団内
TEL.03-3297-2608 FAX.03-3297-2609